

プロフィール エルンスト・レスター



Ernst Lester [エルンスト・レスター] 指揮者・音楽プロデューサー・ヴァイオリニスト

1968年オーストリア生まれ

3才よりW.シュナイダーハンのもとにヴァイオリンを始める。6才で「ウィーン国立音楽大学」準備過程コースに入学。12歳で最年少のヴァイオリン指導者兼コンサートマスターとしてウィーン・ジュニア・フィルハーモニーに入団し、ヨーロッパ各地にて演奏。16才以降、ウィーン・フィルハーモニーの第1コンサートマスターであるライナー・キュッヒルに師事、現在に至る。

1993年 来日。テレビやラジオで活躍。

2003年 桐生市民合唱団にモーツアルト「レクイエム」を指導。指揮者デビューを果たす。

2005年 第1回「ライナー・キュッヒル・ヴァイオリンの夕べ」企画。

2006年 ウィーン・フランチェスカ協会で「モーツアルト・レクイエム」コンサートを指揮

2006年 第2回「ライナー・キュッヒル・ヴァイオリンの夕べ」企画、出演。

2007年 浦和フィルハーモニー管弦楽団指揮

2008年 富岡市文化協会主催「ニューイヤーコンサート」を指揮

2008年 第3回「ライナー・キュッヒル・ヴァイオリンの夕べ」企画、出演。

2009年 高崎フィルハーモニック・ソサエティー・オーケストラ定期演奏会指揮

現在、指揮、演奏活動と並行して、弦楽器の魅力と感動を広めるため、子供たちの指導にも情熱を注いでいる。